

【押出管と引抜管の径の許容差比較】

※JIS H4080 規格の抜粋

単位 mm

押出管		指定された径と任意の1か所の径との差(1)				指定された径と平均径(2)との差			
									
外径又は内径	等級	普通級		特殊級		普通級		特殊級	
	合金番号	5056 5083	その他	5056 5083	その他	5056 5083	その他	5056 5083	その他
13以上 25以下		±0.99	±0.66	±0.76	±0.51	±0.49	±0.33	±0.38	±0.25
25を超え 50以下		±1.3	±0.83	±0.97	±0.64	±0.60	±0.39	±0.46	±0.30
50を超え 100以下		±1.5	±0.99	±1.14	±0.76	±0.75	±0.49	±0.58	±0.38
100を超え 150以下		±2.5	±1.7	±1.91	±1.27	±1.3	±0.83	±0.97	±0.64
150を超え 200以下		±3.7	±2.5	±2.87	±1.91	±1.8	±1.2	±1.35	±0.89
200を超え 250以下		±5.0	±3.3	±3.81	±2.54	±2.2	±1.5	±1.73	±1.14

注(1)質別O、コイル巻管及び肉厚が外径の2.5%未満のものには適用しない。

備考 1.許容差を(+)または(-)だけに指定する場合は、表の数値の2倍とする。

注(2)平均径は、任意の箇所互いに直角に測った2ヶ所の測定値の平均値である。

備考 2.規定範囲外の寸法のもの許容差は、受渡当事者間の協定による。

引抜管		指定された径と任意の1か所の径との差(3)				指定された径と平均径(4)との差	
							
外径又は内径	等級	普通級		特殊級		普通級	特殊級
	合金番号 質別	1070 3203 1050 5052 1100 5154 1200 5056 3003 5083 6063-T83	2017 2024 6061 6063-T6 7075	1070 3203 1050 5052 1100 5154 1200 5056 3003 5083 6063-T83	2017 2024 6061 6063-T6 7075	-	-
4以上 12以下		±0.12	±0.23	±0.08	±0.15	±0.12	±0.08
12を超え 25以下		±0.15	±0.30	±0.10	±0.20	±0.15	±0.10
25を超え 50以下		±0.20	±0.38	±0.13	±0.25	±0.20	±0.13
50を超え 75以下		±0.23	±0.45	±0.15	±0.30	±0.23	±0.15
75を超え 125以下		±0.30	±0.62	±0.20	±0.41	±0.30	±0.20
125を超え 150以下		±0.38	±0.77	±0.25	±0.51	±0.38	±0.25
150を超え 200以下		±0.57	±1.1	±0.38	±0.76	±0.57	±0.38
200を超え 250以下		±0.77	±1.5	±0.51	±1.0	±0.77	±0.51

注(3)質別O、コイル巻管及び肉厚が外径の2.5%未満のものには適用しない。ただし、肉厚が指定外径の2.5%未満の場合は、表の許容差に

右記の係数を乗じて適用する。 2%以上2.5%未満：1.5 1.5%以上2%未満：2.0 1%以上1.5%未満：3.0

注(4)平均径は、任意の箇所互いに直角に測った2ヶ所の測定値の平均値である。